

測色研究会 研究発表会 発表募集のご案内

2017年12月に測色研究会の発表会を実施致します。今年は当研究会のテーマについて、過去、大きな業績を残された二人の著名な先生がお亡くなりになりました。当研究会の顧問でいらっしゃる吉田豊彦先生と、コンピュータ・カラーマッチングシステム(CCM)に多大なる業績を残された村田幸男先生です。この為、今年度の研究発表会は、お二人の追悼を込めた企画にしたいと考えております。また例年同様、研究発表を募集致します。ふるってご応募くださいますよう、お願い申し上げます。

測色研究会 主査 大住 雅之, 武井 昇

1. 研究発表会実施概要

- 日時:** 2017年12月22日(金) 10:00 ~ 17:30
(総会含む、開催時間帯は発表応募件数の関係で変更の可能性があります。)
- 場所:** タワーホール船堀 401 会議室
〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1 TEL:03-5676-2211 (都営新宿線船堀駅隣接)
- 参加資格:** どなたでも参加頂けます。参加費用は無料です。
- 懇親会:** 発表会の後、ささやかながら懇親会を予定しております。

2. 追悼企画

お二人の先生を偲び、講演を2件、企画しております。

講演1.

「塗料や絵の具の混色時に見られる色足(いろあし)のしくみ」(仮題)

講演者 武井 昇

混色時の色軌跡が着色顔料の散乱係数と吸収係数によって説明できることを示した、吉田豊彦先生の研究を紹介します。

講演2.

「CCMの過去と未来—その発展性と課題」(仮題)

講演者 大住 雅之

村田先生の過去の業績とCCMの基礎理論について、簡単にご紹介すると共に、CCMの現状と将来の発展性について、お話します。

3. 研究発表募集概要

- 発表資格:** 日本色彩学会、色材協会の会員が少なくとも1名、発表者の中に含まれていることが必要です。会員は正会員、学生会員、賛助会員の企業の方等、その種別を問いません。既発表、未発表いずれの内容も、当研究会の主旨に沿うものであれば受け付けます。
- 発表方式:** 口頭発表としますが、以下の内容を可とします。
- ・登壇者は複数でも構いません。共同発表に名を連ねていれば、登壇可能です。
 - ・発表はプロジェクターを基本としますが、その他、サンプルや実機デモ、ポスターの併用も構いません。プロジェクターはご要望により Full HD(1920×1080Pixel)も可能です。
 - ・壇上には机、及び電源を用意します。
 - ・発表毎に最低5分間のインターバルを設けます。
 - ・英語での発表も可とします。
- 発表持ち時間:** 最長30分とします。最低3分の質疑時間の確保を義務とし、それ以外は発表者の配慮により発表と質問の時間配分は自由です。発表途中での質問の受付、双方向の議論など、発表者の主導により行うことを可とします。
- 発表審査:** 申し込み時に500字程度の概要を提出頂き、プログラム委員会にて審査します。審査結果は後程、通知致します。申し込みの際の概要は英語での記載も可とします。尚、審査は2名の委員により行います。

